



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「良寛さんの言葉」
 牧師が良寛さんの話をするのも何だが、まあ聞いて（見て）下され。小林完吾という日本テレビのアナウンサーの手記（PHP-1997年10月号）である。
 「わたしが大切にしている言葉の一つに良寛さんの言葉があります。『災難に遭う時節には災難に遭うがよく候、死ぬる時節には死ぬがよく候、これはこれ御身災難を免るる妙法にて候』というもので、十八年間、ダウン症の息子を三ヶ月で亡くした時、親しかった知人がメモにして通夜の席でそっと手渡してくれたものです。悲しい時には、こらえたりせず思いっきり悲しみに身を任せなさい。そうすることが悲しみから免れる妙法です、と受け止め。私たちは強がることなく、全身で息子の死を悲しんだものです。お腹を痛めた妻などは、十七年目でようやく息子の写真を整理する気になったというから、妙法とて母親の心を癒すのには長い時間がかかったのです。そのことにとらわれれば、とらわれる程、そのことから免れられなくなってしまう。考えてみれば人生万事がそういえる。去年、私は思いもかけず脳出血に襲われましたが、あの瞬間、『不覚』という思いでジタバタしていたら、血圧がさらに昇って大事にいたっていたかも知れません。良寛さんの言葉が脳裏を走ったわけではありませんでした。『そうか脳出血だったか』と意外にも素直に病氣を受容することが出来たのです。残された左半身麻痺という後遺症に対しても、出来るだけ元通り風になるため、リハビリに励んではいまいすが、かといって、たとえそこまで回復しなかったとしても、悲観に沈んだり、落ち込むようなことはないと思っています。それどころか、一層、体の機能レベルが下がった今こそ、少々難易度の高いものに挑戦するのも一つと、教習所に通い、運転免許も手に入れました」
 伝道の書に、「死ぬるに時があり…悲しむに時があり…やわらぐに時がある」(三・258)とある。そして次の言葉が続く、「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる」(新共同訳)と。人生の折々の出来事を通して、私たちの心が、永遠という神に向けられるとすれば、それこそが時宜にかなうというのだ。神を思うことによって自分の行く末はどうかと問い、神の前に襟をただすからであり、これが妙法である。パウロは、「何事も思い煩ってはならない。事ごとに、感謝をもって祈りと願いとをささげ」(ピリピ四・6)と命じるが、不覚と思えることも、時宜、つまり「宜しい時」という神の最善を信じることによって、私たちは感謝にまで引き上げられてゆく。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

